

# SDGsに向けた官民連携のご提案



2022年3月23日



ジャンプレミアムベジタブル株式会社  
COO 吉田重信

日本の農業と工業のコア技術を融合した植物工場により  
日本の暑い夏に美味しい野菜、海外に安全・安心で美味しい野菜の提供を目指します

## オールジャパンの先端技術を集約した、 育苗技術、低コスト栽培設備、高効率栽培管理のコンサルティング

2022年度：海外大学・研究機関との連携、実証試験準備

2023年度：海外実証試験

2024年度：海外農業法人との事業連携

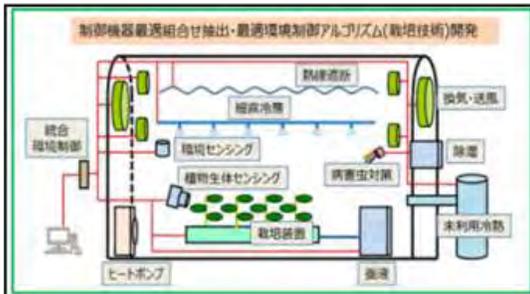
日本品種の 大苗育苗	日本からの 環境制御	日本の 農業技術者 栽培指導
閉鎖型育苗 設備	IOT/センシングにより 低コストで 高度な制御、遠隔管理	



日本品種を用いた  
日本品質プロダクト

日本の安全・安心で美味しい食材や加工食品の魅力を武器に、日本の高度な技術をアジアで活用し、官民連携による各種プロジェクトの創出をおこない、海外担い手の所得向上、農薬等の削減による健康被害の削減、節水農業やゼロエミッション農業による地球環境の保全、スマートフードチェーンによる食品ロス削減等を目指す。

## 第一次産業基盤技術



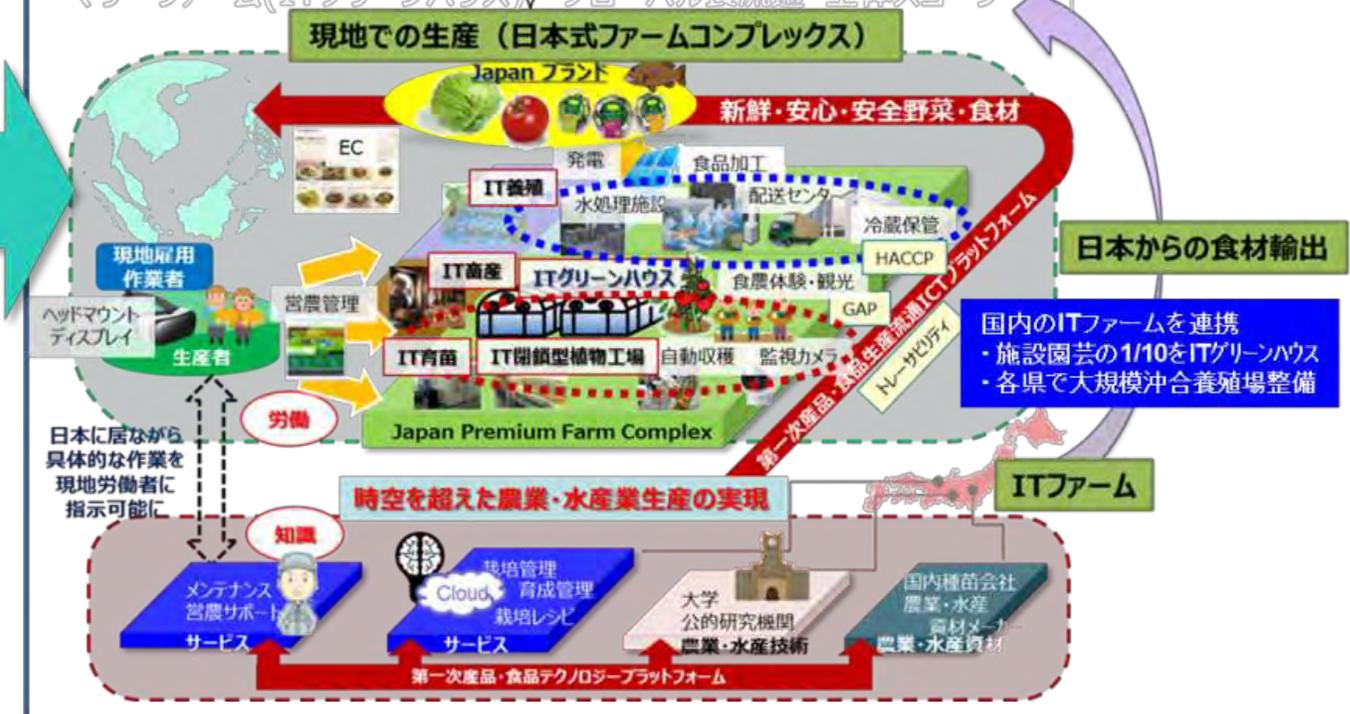
アジアモンsoonPFS  
(ITグリーンハウス)



大規模沖合養殖システム実用化  
(IT養殖)

## 目指す姿

バリューチェーン全体での「日本の食文化」浸透と偽物を入れない仕組み作り



製造、流通、小売りの連携による海外事業展開を官民連携にてプロジェクト化

- ・担い手所得の向上
- ・農薬の使用削減
- ・節水農業
- ・土壌汚染防止
- ・ゼロエミッション農業
- ・食品ロス削減 等

「知」の集積と活用「Society5.0におけるファームコンプレックス研究開発プラットフォーム」資料

[https://www.knowledge.maff.go.jp/uploads/casebook\\_rev1808el.pdf](https://www.knowledge.maff.go.jp/uploads/casebook_rev1808el.pdf)